

◇ 岡本静江さんの介護計画書

(テーマ:看取り期の 食事

支援)

事業所名 小鹿なでしこ苑

競技者氏名

ヌル アジザー

長期目標 (期間:12か月)	痛い思いや苦しい思いをせず、穏やかに自分のペースで生活し、体調をみながら趣味の俳句の会に参加することが出来る。
-------------------	---

課題	短期目標		具体的な援助内容・方法		頻度
	目標	期間	内容	方法	
息子たちに迷惑をかけず、痛い思いや苦しい思いをせず、自分のペースで生活したい。	痛い思いや苦しい思いをせず、自分のペースで生活することが出来る。	R6/8/1～R7/1/31	<ul style="list-style-type: none"> 日々健康状態の確認をします。 ご家族と健康状態を共有します。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日バイタル測定を行います。 月1回、定期受診します。 全身状態の観察(下肢の浮腫の確認)をします。 積極的に声掛けし、声の出かたなどからも体調を考察します。 巡視時開眼されていれば、腰痛確認をします。 曜日を決め、家族に状態報告します。 	毎月1回
		R6/8/1～R7/1/31	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いて過ごせるよう環境を整えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ご本人の過ごしやすい、室温・湿度に調整します。 思い出の品や、写真、俳句を飾ります。 好きな音楽を流します。 	随時
	誤嚥に注意し、好きなものを食べることが出来る。	R6/8/1～R7/1/31	<ul style="list-style-type: none"> 誤嚥に注意した食事摂取(介助)します。 	<ul style="list-style-type: none"> その時その時の食欲に合わせ無理なく食べていただきます。 体調に合わせ、無理な離床はせず、ベッド上での介助も行います。 食事時のポジショニングを整える。(ベッド上及び座位) 全介護員が同じようポジショニング出来るよう写真で周知・確認します。 食事介助はご本人の右側から行います。 飲み込み確認しながら、ご本人のペースに合わせて介助します。 咀嚼、飲み込みの様子を観察し、必要時には速やかに食事形態の検討、変更を行います。 	毎日 随時
	身体に負担なく過ごすことが出来る。	R6/8/1～R7/1/31	<ul style="list-style-type: none"> 身体に負担のないよう環境を整えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 機能訓練士とともに、ご本人にあった車椅子を選択します。 座位保持の負担軽減及び、褥瘡予防を兼ねてご本人に合った除圧クッションを使用します。 体圧分散マットレスを使用します。 臥床時、2時間に一度体位変換の声掛け、介助を行います。 腰痛に合わせ、機能訓練士とポジショニングの確認をします。 全介護員が同じようポジショニングが出来るよう、写真で周知・確認します。 	必要時 毎日
体調の良い時は、俳句の会に参加したり、家族と散歩に出かけることが出来る。	R6/8/1～R7/1/31	<ul style="list-style-type: none"> 体調に合わせ、楽しみが持てるよう支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> ご家族、ご友人の面会時には、落ち着いて面会出来るよう配慮します。 俳句の会開催時には、参加の希望を確認し、状態によっては、ベッドでの移動も介助します。 	随時 毎週水曜日	